

インターネット LIVE NS予想大会

第170回日商簿記1級

2025年5月8日(木) 19:30 よりスタート

商業簿記/会計学担当:中村雄行

工業簿記/原価計算担当:藤本拓也

ーしばらくお待ちくださいー

インターネット LIVE NS予想大会

第170回日商簿記1級

スケジュール

19:30 挨拶/講師紹介

19:40 商業簿記/会計学予想(担当:中村)

20:10 工業簿記/原価計算予想(担当:藤本)

20:40 直前期の過ごし方

20:45 お悩み相談

20:55 グランドフィナーレ

※進行状況によりスケジュールは変更になる場合がございます。

予想大会

◆◆商業簿記・会計学◆◆

過去の出題実績
出題予想
ワンポイント講義

項 目	頻度	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回	167回	168回
損益計算書	6	●				●			●	●	●
貸借対照表	4	●				●	●				●
残高試算表	1			●							
損益・決算残高	—										
本店会計	1				●						
連結会計	3	●		●						●	
決 算 整 理 事 項 等											
商品販売	2		●			●					
保守サービス付き販売	1								●		
返品権付き販売	2						●	●			
未着品販売	1								●		
売価還元法	2								●	●	
棚卸資産評価損	3		●		●		●				
カスタマー・ロイヤリティ・プログラム	2					●				●	
売上割戻	1										●
貸倒懸念債権	2			●							●
破産更生債権等	2			●		●					
電子記録債権	—										
売買目的有価証券	1								●		
満期保有目的証券	3			●	●			●			
子会社・関連会社株式	1					●					
その他有価証券	5			●	●	●				●	●
資本金の支出・買換え	1						●				
200%定率法	7		●		●			●	●	●	●
減損会計	3						●	●		●	
リース会計	—										
資産除去債務	2		●						●		
ソフトウェア	4					●		●		●	●
負債性引当金	7		●		●			●	●	●	●
退職給付会計	—										
社債償却原価法	1			●							
社債買入償還	1								●		
社債抽選償還	1										●
新株予約権付社債	1			●							
自己株式	5	●	●	●			●			●	
剰余金の配当	3	●				●		●			
外貨換算会計	2		●		●						
為替予約	4		●		●		●		●		
在外支店	1				●						
デリバティブとヘッジ会計	—										
新株予約権	1	●									
ストック・オプション	2	●								●	
資本連結	3	●		●						●	
成果連結	2	●								●	
持分法	1			●							
税効果会計	1							●			
包括利益	1									●	
会計上の変更・誤謬の訂正	1					●					
受注制作のソフトウェア	1							●			
税効果会計	5	●		●		●		●			●

商業簿記の傾向

まずは**出題頻度**の高い論
点から潰していこう！



…注意論点…

- ・収益認識、割賦販売、商品券
- ・貸倒懸念債権
- ・リース会計
- ・新株予約権付社債
- ・為替予約
- ・自己株式
- ・デリバティブ取引
- ・連結会計(包括利益)

ここから
出てる

会計学の傾向



- …注意論点…
- ・収益認識
 - ・工事契約
 - ・連結会計(退職給付)
 - ・連結会計(組織再編)
 - ・キャッシュ・フロー計算書
 - ・税効果会計

ここから
出てる

この辺は要注意!
危ないぞ!

理論問題		頻度	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回	167回	168回
正誤問題		0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
語句記入問題		6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
語群選択問題		—										
記述問題		—										
計算問題												
商品売買	複数の履行義務	1						●				
	売価還元法	—										
	棚卸資産	1			●							
債権	貸倒懸念債権	1								●		
	利息の認識	—										
	売買目的有価証券	—										
有価証券	満期保有目的債券	1	●									
	子会社・関連会社株式	1	●									
	その他有価証券	1	●									
	200%定率法	—										
有形固定資産	減損会計	1		●								
	資産除去債務	—										
	ファイナンス・リース	2		●			●					
	圧縮記録	1	○									
負債性引当金	退職給付会計	—										
	償却原価：利息法	—										
	社債買入償還	—										
社債	社債抽還償還	—										
	新株予約権付社債	1					●					
	剰余金の配当等	1			●							
資本会計	分配可能額	2			●						●	
	自己株式	1								●		
	株主資本等変動計算書	1								●		
外貨・純資産	外貨換算会計	—										
	デリバティブとヘッジ会計	1	●									
	ストック・オプション	1		●								
連結会計	資本連結	4					●	●	●	●	●	●
	成果連結	2		●						●		
	持分法	1										●
	税効果会計	1							●			
	在外子会社の連結	2				●			●			
キャッシュ・フロー会計	包括利益	1							●			
	営業活動：直接法	—										
	営業活動：間接法	—										
企業結合・事業分離	連結キャッシュ・フロー	—										
	吸収合併等	1									●	
	株式交換・株式移転	1		●							●	
その他	事業分離・共同支配企業	2			●						●	
	1株当たり当期純利益	1									●	
	不動産の流動化	—										
	税効果会計	2	●							●		
	工事契約	—										
その他	会計上の変更・誤謬の訂正	1			●							
	ソフトウェア	1				●						

商業簿記・会計学…収益認識基準に引き続き注意

出題予想

		第1予想(本命)	第2予想(対抗)	第3予想(大穴)	ウラ予想(大胆)
商業簿記		貸借対照表、損益計算書	決算整理後残高試算表	連結財務諸表	本支店会計 (在外支店含む) 連結会計
会計学	第1問	計算問題 (資産除去債務)	計算問題 (売価還元低価法)	空欄補充問題	受注制作の ソフトウェア
	第2問	リース会計	会計上の変更、 誤謬の訂正	為替予約	市場販売目的の ソフトウェア
	第3問	減損会計	連結会計 (その他有価証券評価差額金)	キャッシュ・フロー計算書	企業結合 事業分離

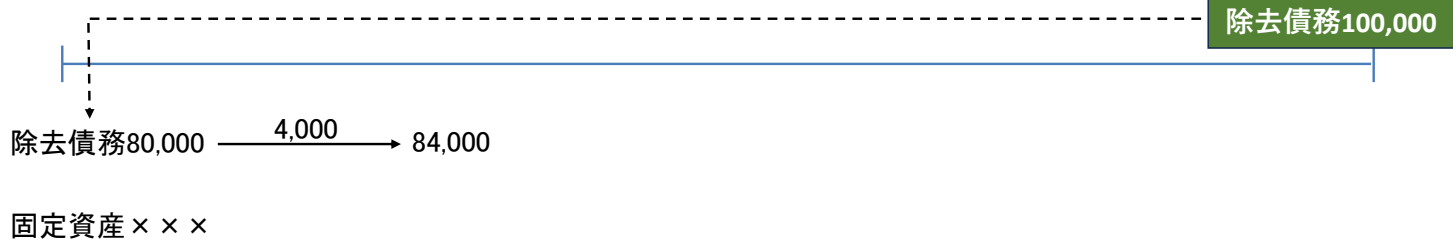
連結会計が連続出題!
そして気になる資産除去債務

ワンポイント講義へ

…注意論点…

- ・収益認識、割賦販売、商品券
- ・工事契約
- ・貸倒懸念債権
- ・リース会計
- ・新株予約権付社債
- ・為替予約
- ・自己株式
- ・デリバティブ取引
- ・連結会計(包括利益)
- ・連結会計(退職給付)
- ・連結会計(組織再編)
- ・キャッシュ・フロー計算書
- ・税効果会計

ここから
出てる



固定資産80,000 ↓ 将来加算一時差異	除去債務80,000 ↓ 将来減算一時差異	利息費用 4,000 / 資産除去債務4,000 繰延税金資産 1,200 / 法人税等調整額 1,200	繰延税金資産 25,200	除去債務84,000
繰延税金資産 24,000	繰延税金負債 24,000	減価償却費8,000 / 固定資産8,000 繰延税金負債 2,400 / 法人税等調整額 2,400	固定資産72,000	繰延税金負債 21,600

- (1) 一時差異の発生
 - ① 資産除去債務が税務上認められないため、会計上の負債と税務上の負債の金額に差異が生じます。この差異は将来の法人税等を減額させる効果があるため、**将来減算一時差異**となります（繰延税金資産の計上）。
 - ② また、有形固定資産に加算された金額についても税務上認められないため、会計上の資産と税務上の資産の金額に差異が生じます。この差異は将来の法人税等を増額させる効果があるため、**将来加算一時差異**となります（繰延税金負債の計上）。
- (2) 将来減算一時差異の増加と解消
 - ① 利息費用が税務上否認（損金不算入＝加算）されることにより、資産除去債務について会計上と税務上の金額との差異が増加します。よって、それに対応する**繰延税金資産**も増加することになります。
 - ② 資産除去債務に係る**将来減算一時差異**の金額は、当該資産を除去した時に除去費用が税務上損金算入されることにより全額解消となります。よって、それに対応する**繰延税金資産**を消去することになります。
- (3) 将来加算一時差異の解消

資産除去債務の金額を有形固定資産の帳簿価額に加算したことにより生じた**将来加算一時差異**は、耐用年数にわたり減価償却費の差額として解消していくこととなります。よって、それに対応する**繰延税金負債**を消去することになります。

資産除去債務の履行時期における割引前将来キャッシュ・フローに重要な見積りの変更が生じた場合、その調整額は資産除去債務に関連する有形固定資産の帳簿価額に加減して処理します。なお、調整するさいに適用する割引率は以下のようになっています。

割引前将来キャッシュ・フローが増加する場合	見積りの変更時の割引率を適用する。	
割引前将来キャッシュ・フローが減少する場合	負債計上時の割引率を適用する。	
	過去に割引前将来キャッシュ・フローが増加し、減少部分に適用すべき割引率を特定できない場合	加重平均した割引率を適用する

ワンポイント講義: 例題

東京工業株式会社（年1回3月末日決算）は、X1年4月1日に機械装置を取得し、ただちに使用を始めた。この機械装置については、使用完了後に除去して適切な方法で廃棄する法的義務があり、資産除去債務を計上しなければならない。次の諸条件にもとづいて、資産除去債務に関する下記の各問に答えなさい。

なお、計算上端数が生じる場合には、千円未満を四捨五入すること。

〔諸条件〕

- 機械装置の取得原価：58,304千円 減価償却方法は、残存価額をゼロとし、定額法、間接法によって償却する。耐用年数は3年である。取得時（X1年4月1日）に予想された除去費用の支出額は1,800千円であった。X1年4月1日時点の割引率は年2%であった。
- X2年3月31日時点で支出額を2,000千円に修正した。X2年3月31日時点における割引率は年1%であった。
- X3年3月31日時点で支出額を1,750千円に修正した。X3年3月31日時点における割引率は年1.5%であった。過去に割引前将来キャッシュ・フローの見積りが増加しその後減少した場合で、減少部分に適用すべき割引率を特定できないときは、当初見積額と増加額で加重平均した割引率1.9%を用いる。
なお、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」設例5に従い、X3年3月期の利息費用について加重平均割引率1.9%を用いて計算することとする。

問1 X2年3月31日の決算整理後残高試算表を作成しなさい。

問2 X3年3月31日の決算整理後残高試算表を作成しなさい。

問1

決算整理後残高試算表

X2年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
機械装置		資産除去債務	
利息費用		機械装置減価償却累計額	
減価償却費			

問2

決算整理後残高試算表

X3年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
機械装置		資産除去債務	
利息費用		機械装置減価償却累計額	
減価償却費			

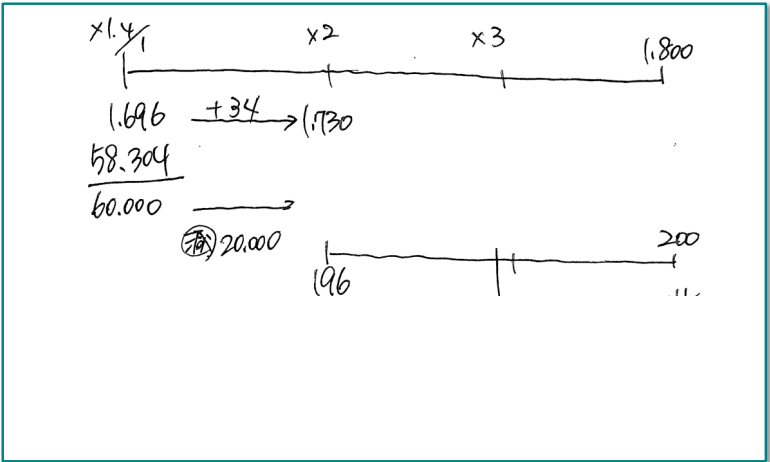
- 1 機械装置の取得原価：58,304 千円 減価償却方法は、残存価額をゼロとし、定額法、間接法によって償却する。耐用年数は3 年である。取得時(X1 年4 月1 日)に予想された除去費用の支出額は1,800 千円であった。X1 年4 月1 日時点の割引率は年2 %であった。
- 2 X2 年3 月31 日時点で支出額を2,000 千円に修正した。X2 年3 月31 日時点における割引率は年1 %であった。
- 3 X3 年3 月31 日時点で支出額を1,750 千円に修正した。X3 年3 月31 日時点における割引率は年1.5 %であった。過去に割引前将来キャッシュ・フローの見積りが増加しその後減少した場合で、減少部分に適用すべき割引率を特定できないときは、当初見積額と増加額で加重平均した割引率1.9 %を用いる。
- なお、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」設例5 に従い、X3 年3 月期の利息費用について加重平均割引率1.9 %を用いて計算することとする。

問 1

決算整理後残高試算表			
X2年3月31日		(単位：千円)	
借方科目	金額	貸方科目	金額
機 械 装 置	1 ★ 60,196	資 産 除 去 債 務	4 ★ 1,926
利 息 費 用	2 ★ 34	機械装置減価償却累計額	5 ★ 20,000
減 価 償 却 費	3 ★ 20,000		

問 2

決算整理後残高試算表			
X3年3月31日		(単位：千円)	
借方科目	金額	貸方科目	金額
機 械 装 置	6 ★ 59,950	資 産 除 去 債 務	9 ★ 1,717
利 息 費 用	7 ★ 37	機械装置減価償却累計額	10 ★ 40,098
減 価 償 却 費	8 ★ 20,098		



解 答

問 1

決算整理後残高試算表			
X2年3月31日		(単位：千円)	
借方科目	金額	貸方科目	金額
機 械 装 置	1 ★ 60,196	資 産 除 去 債 務	4 ★ 1,926
利 息 費 用	2 ★ 34	機械装置減価償却累計額	5 ★ 20,000
減 価 償 却 費	3 ★ 20,000		

問 2

決算整理後残高試算表			
X3年3月31日		(単位：千円)	
借方科目	金額	貸方科目	金額
機 械 装 置	6 ★ 59,950	資 産 除 去 債 務	9 ★ 1,717
利 息 費 用	7 ★ 37	機械装置減価償却累計額	10 ★ 40,098
減 価 償 却 費	8 ★ 20,098		

★ 1 つにつき 1 点 合計10点

解き方 (以下、仕訳の単位：千円)

Step 0 問題文をよく読み、解答要求と会計期間を確認する

本問では資産除去債務の処理が問われています。難易度が高いため初見で解けなくても気にする必要はありませんが、本試験までには解けるようにしておきましょう。

問 1 X2 年3 月31 日現在の決算整理後残高試算表

1. 資産除去債務の計上 (X1 年4 月1 日)

資産除去債務は、有形固定資産の取得、建設等によって発生した時に負債として計上します。資産除去債務はそれが発生した時に、有形固定資産の除去に要する割引前将来キャッシュ・フローを見積り、割引後の金額で算定します。

(機 械 装 置)	60,000 千円	(現 金 預 金)	58,304 千円
		(資 産 除 去 債 務)	1,696 千円

* 1 1,800 千円 ÷ 1.02³ = 1,696.18... → 1,696

* 2 58,304 千円 + 1,696 千円 = 60,000 千円

(参考) 期待値法

除去費用について、以下の出題のされ方をしても解けるようにしておきましょう。

除去費用の見積もりは、期待値法を用いる。取得時の予想される支出額及びその発生確率は、次のとおりであった。

支 出 額	1,600 千円	1,840 千円	2,000 千円
発生確率 (%)	30%	50%	20%

期待値法では、支出額を発生確率で加重平均した金額とします。

除去費用：1,600 千円 × 30% + 1,840 千円 × 50% + 2,000 千円 × 20% = 1,800 千円

2. 利息費用の計上 (X2 年3 月31 日)

2 (利 息 費 用)	34 *	(資 産 除 去 債 務)	34
---------------	------	-----------------	----

* 1,696 千円 × 2 % = 33.92 → 34

3. 資産除去債務の増加 (X2 年3 月31 日)

除去費用 (割引前将来 C/F) の見積りの変更による調整額は、資産除去債務の帳簿価額および関連する有形固定資産の帳簿価額に加減して処理します。見積りの変更に伴い割引前将来 C/F が増加した場合は、増加額を見積変更時点の割引率を用いて残存年数で割引します。

(2,000 千円 - 1,800 千円) ÷ 1.01² = 196.05... → 196 千円

X2 年3 月見積額 X3 年4 月見積額

(機 械 装 置)	196	(資 産 除 去 債 務)	196
X2 年3 月末 機 械 装 置	60,000 千円 + 196 千円 = 60,196 千円	1	
X2 年3 月末 資 産 除 去 債 務	1,696 千円 + 34 千円 + 196 千円 = 1,926 千円		4

4. 減価償却 (X2 年3 月31 日)

期末に増加しているため、増加分は翌期から償却します。

3 (減 価 償 却 費)	20,000 *	(機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額)	20,000	5
-----------------	----------	---------------------------	--------	---

* 58,304 千円 ÷ 3 年 + 1,696 千円 ÷ 3 年 = 19,999.99... → 20,000 千円

問 2 X3 年3 月31 日現在の決算整理後残高試算表

1. 利息費用の計上額の計算 (X3 年3 月31 日)

割引率は、問題文の指示に従い以下の2 の加重平均割引率を用います。

7 (利 息 費 用)	37 *	(資 産 除 去 債 務)	37
---------------	------	-----------------	----

* 1,926 千円 × 1.9 % (加重平均割引率) = 36.594 → 37

X3 年3 月末の資産除去債務：1,926 千円 + 37 千円 = 1,963 千円

※ 用いる割引率について

X2 年3 月31 日 (前期末) に除去費用の見積額が増加し、X3 年3 月31 日 (当期末) に除去費用の見積額が減少しているため、当期中の利息費用の計算について、本末は、当初見積分1,730 千円について取得時の割引率2 %を用い、増加分196 千円について増加時の割引率1 %を用いるべきと考えます。

しかし、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」設例5 においては、当期中の利息費用について以下の加重平均割引率を用いて計算しています。そのため、本問では問題文に加重平均割引率を用いる指示を入れてあります。

2. 資産除去債務の減少 (X3 年3 月31 日)

割引前将来 C/F が減少した場合は、通常、負債計上時点の割引率を適用します。しかし、本問では1,800 千円から2,000 千円に増加し、1,750 千円に減少しています。この減少額250 千円が当初の1,800 千円から生じたのか、増加額の200 千円から生じたのかかわからず、割引率を特定できません。そのときは、当初見積額と増加額で加重平均した割引率を用います。

加重平均割引率：2 % × $\frac{1,800 \text{ 千円}}{1,800 \text{ 千円} + 200 \text{ 千円}} + 1 \% \times \frac{200 \text{ 千円}}{1,800 \text{ 千円} + 200 \text{ 千円}} = 1.9 \%$

そして、除去費用1,750 千円を加重平均割引率を用いて計算した現在価値1,717 千円と、資産除去債務の簿価1,963 千円の差額で資産除去債務の減少額を計算します。

除去費用1,750 千円の現在価値：1,750 千円 ÷ 1.019 = 1,717.36... → 1,717 千円

資産除去債務の減少額：1,717 千円 - 1,963 千円 = △246 千円

(資 産 除 去 債 務)	246	(機 械 装 置)	246
-----------------	-----	-------------	-----

X3 年3 月末 機 械 装 置：60,196 千円 - 246 千円 = 59,950 千円

X3 年3 月末 資 産 除 去 債 務：1,926 千円 + 37 千円 - 246 千円 = 1,717 千円

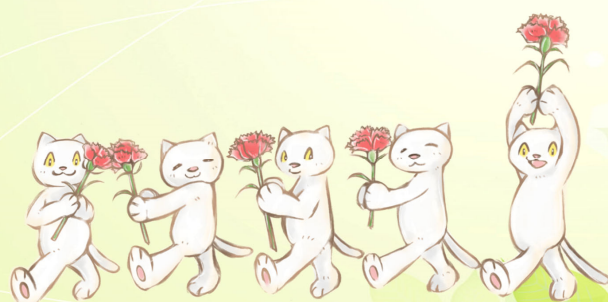
3. 減価償却 (X3 年3 月31 日)

取得時計上分と、増加分を分けて計算します。

8 (減 価 償 却 費)	20,098 *	(機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額)	20,098
-----------------	----------	---------------------------	--------

* 58,304 千円 ÷ 3 年 + 1,696 千円 ÷ 3 年 + 196 千円 ÷ 2 年 = 20,097.99... → 20,098 千円

X3 年3 月末 機械装置減価償却累計額：20,000 千円 + 20,098 千円 = 40,098 千円

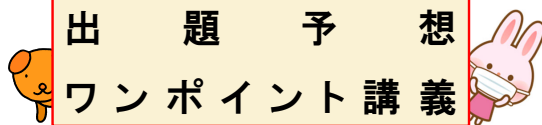


ご清聴ありがとうございます
次は工原いきましょう！

インターネットLive
予想大会！

◇◆工業簿記・原価計算◆◇

過去の出題実績
出題予想
ワンポイント講義



工業簿記の傾向

項 目		頻度	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回	167回	168回
費目別計算		4	●		●						●	●
個別原価計算		—										
部門別計算		3			●			●			●	
総合原価計算		2							● 原計		●	
標準原価計算		4		●		●	●			●		
その他の計算問題		1		●								
理論問題		6	●	●	●	●			●	●		
項 目	論 点											
費目別計算		材料費・労務費・経費等	5	●		●			●		●	●
個 別 原 価 計 算	単純個別・部門別個別	—										
	仕損・作業屑の処理	—										
	ロット別個別原価計算	1									●	
部門別計算	配賦基準(単一基準・複数基準)	1			●							
	配賦額の計算(実際配賦・予定配賦)	3			●			●			●	
	補助部門間の用役授受	2			●						●	
総 合 原 価 計 算	仕損・減損の処理(度外投法・非度外投法)	1							● 原計			
	仕損・減損の処理(一定点発生・平均的発生)	1							● 原計			
	減損の安定的発生	—										
	工程別総合原価計算(累加法・非累加法)	1									●	
	追加材料の投入(終点・途中点・平均的投入)	—										
	組別総合原価計算	1									●	
	等級別総合原価計算	—										
その他の総合原価計算	連産品	—										
	副産物	—										
標 準 原 価 計 算	原価標準の設定	2			● 原計		●					
	原価差異の分析(配合歩留を除く)	4		●		●	●			●		
	勘定記入(シングル・プラン、修正バーチャル・プラン)	1				●						
	仕損・減損の処理(第1法・第2法)	—										
	配合差異・歩留差異	1				● 原計						
	差異の追加配賦	1								●		
	標準工程別原価計算	2				●	●					
そ の 他	本社工場会計	—										

原価計算の傾向

項 目		頻度	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回	167回	168回
直接原価計算・CVP分析		5		● 一問二問	●			●	● 工簿			●
予算管理・事業部制		4		● 一問二問	●		●				●	
意思決定会計		5		●				●		●	●	●
戦略的原価計算		2	●					●				
理論問題		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
項 目	論 点											
原 価 ・ 営 業 量 ・ 利 益 関 係 の 分 析	CVP分析	4		●	●			●				●
	安全余裕率・経営レバレッジ	1			●							
直 接 原 価 計 算	原価の固定分解	1										●
	固定費調整	—										
	貢献利益と価格決定	—										
最 適 セ ー ル ス ・ ミ ッ ク ス	直接原価計算による損益計算書	1							●		●	
	直接原価計算と全部原価計算	1							● 工簿			
予 算 管 理	共通制約条件ひとつ	—										
	線形計画法(LP)	2		●							●	
事 業 部 の 業 績 測 定	予算編成	2			●		●					
	予算実績差異分析	2		● 工簿							●	
	セグメント別損益計算書	1				●						
業 務 執 行 的 意 思 決 定 会 計	事業部長と事業部の業績測定(ROI、RI)	1					●					
	内部振替価格	1				●						
	注文引受可否の意思決定	1										●
設 備 投 資 意 思 決 定 会 計	自製が購入かの意思決定	—										
	その他の意思決定	1						●				
	新規投資・追加投資	2		●						●		
	取替投資	—										
投 資 案 の 評 価	キャッシュ・フロー予測	1								●		
	タックスシールド	1								●		
	資本コスト	—										
戦 略 的 原 価 計 算	正味現在価値法	2		●						●		
	内部利益率法	1		●								
	その他の評価法	2		●						●		
	原価企画	2	●					●				
戦 略 的 原 価 計 算	活動基準原価計算	2	●					● 工簿				
	品質原価計算	1							●			
	ライフサイクル・コスト	2					●		●			



工業簿記・原価計算…問題文や資料の読解力も身につけよう

	第1予想(本命)	第2予想(対抗)	第3予想(大穴)	ウラ予想(大胆)
工業簿記	工程別総合原価計算	標準原価計算	部門別計算・ABC 個別原価計算	費目別計算
原価計算	予算実績差異分析	設備投資の意思決定	予算編成	ライフサイクル・コスト 直接原価計算



工業簿記・原価計算の

きになるポイント

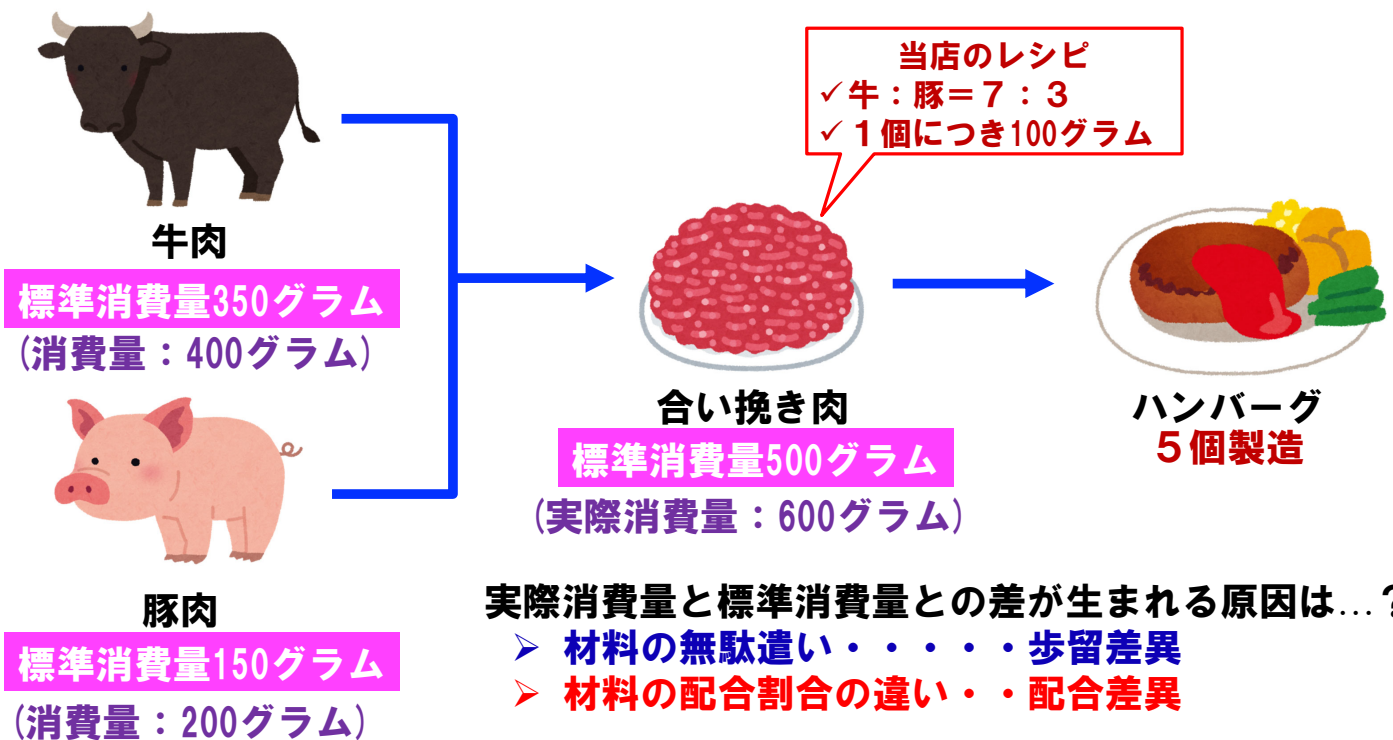
- 工業簿記に関しては、直近の試験で総合原価計算に関する出題が少ないのが気になるところ。とはいえ、標準原価計算や費目別計算など頻出論点も要注意。
- 原価計算は予算編成の問題が多い割に予算統制(予算実績差異分析)の出題が少ないのが気になるところ。全経簿記上級のような複数問構成の出題も想定した方が良くかも。



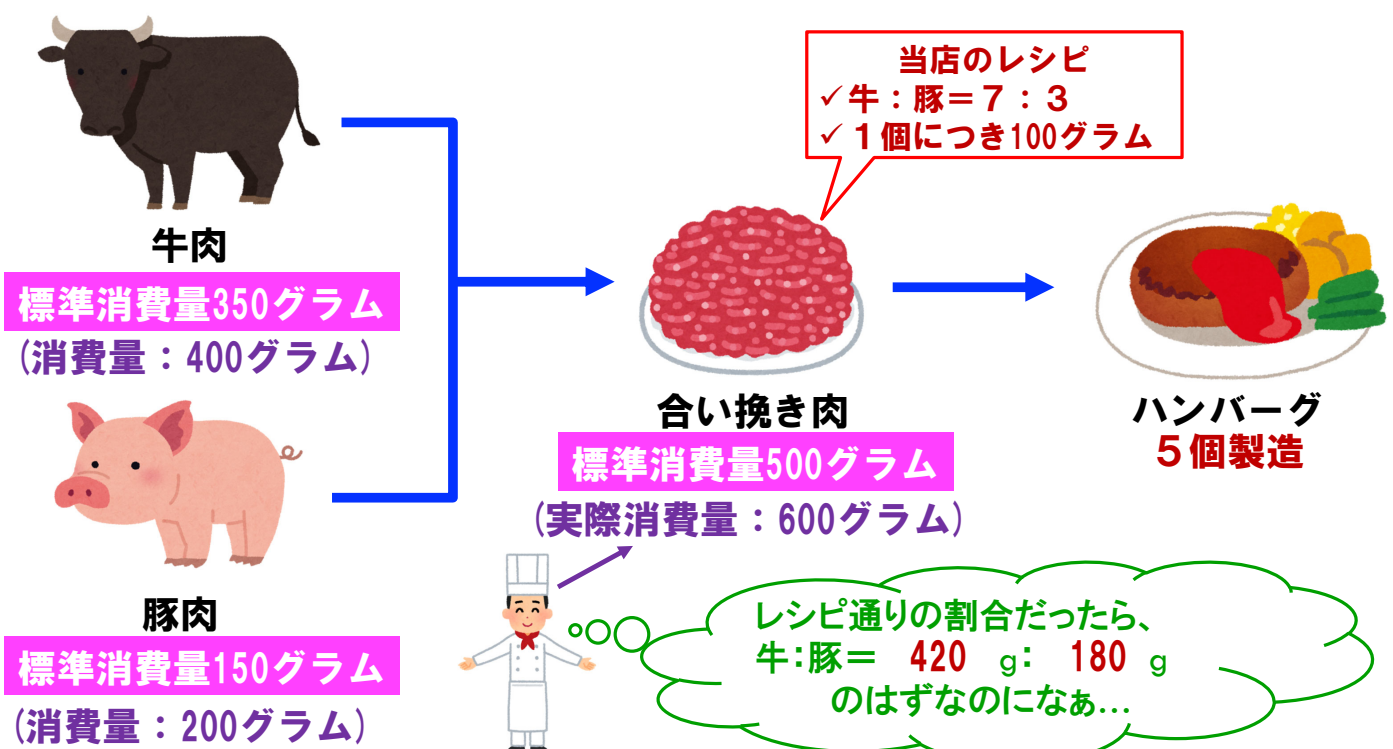
ワンポイント講義

標準原価計算 (配合差異と歩留差異)

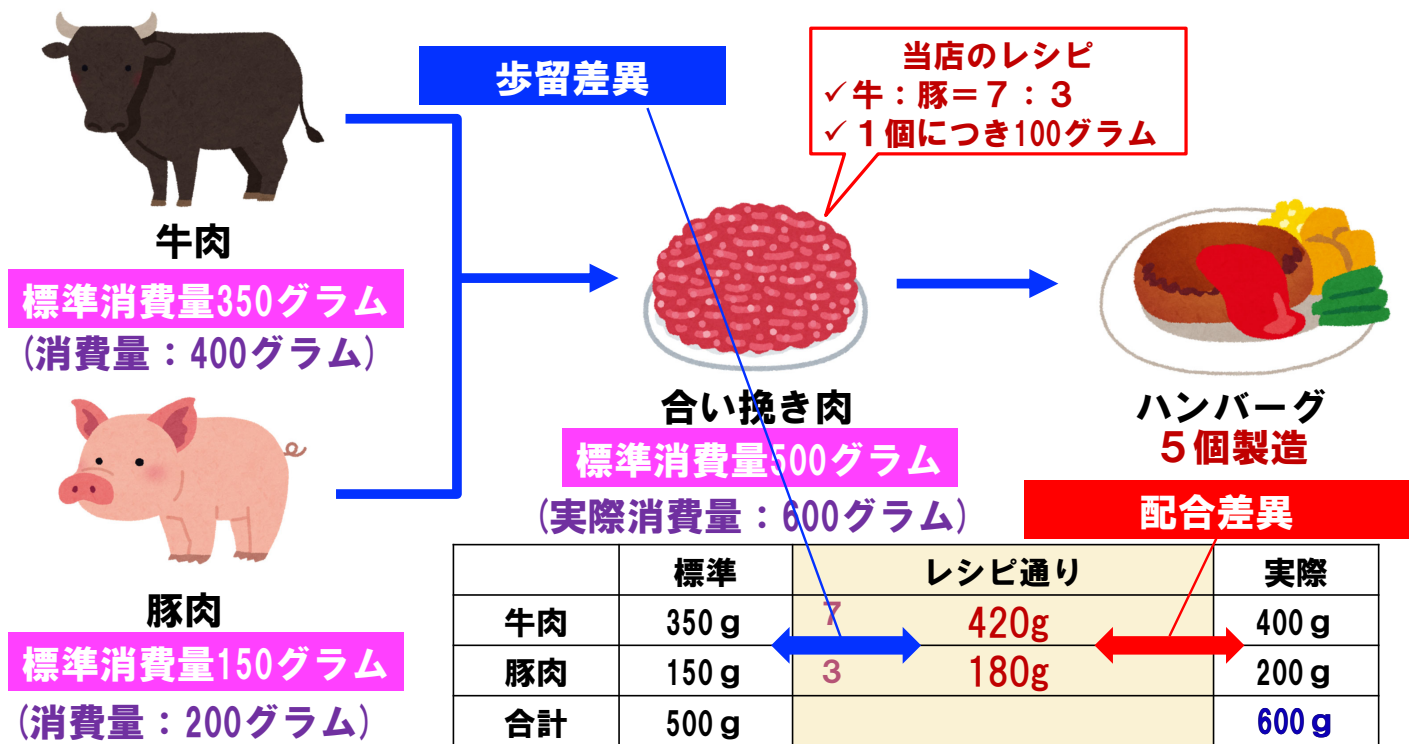
配合差異と歩留差異の分析のイメージ



配合差異と歩留差異の分析のイメージ



配合差異と歩留差異の分析のイメージ



過去問題で考えてみよう

第159回 原価計算 第2問(抜粋)

M製作所では、S原料3kgとT原料2kgを配合投入して4kgのK製品を製造している。当製作所では全部標準原価計算を採用しており、原料費の原価差額を原料消費価格差異、原料配合差異および原料歩留差異に分析している。また、加工費の原価差異を予算差異、操業度差異、能率差異および歩留差異に分析しているが、能率差異と歩留差異は標準配賦率を用いて計算している。以下の【資料】にもとづいて、下記の問に答えなさい。

【資料】

- S原料の標準価格は1,600円/kg、T原料の標準価格は2,200円/kgである。
- 4kgのK製品を製造するための標準作業時間は2時間である。
- 当月の予定作業時間は500時間であり、そのときの加工費予算は1,600,000円(うち、固定費1,050,000円)である。なお、変動予算を実施している。
- S原料の当月実際消費量は650kg、T原料の当月実際消費量は430kgであった。
- 当月の実際作業時間は445時間であり、そのときの加工費実際発生額は1,555,400円であった。
- K製品の当月実際生産量は880kgであった。
- 月初と月末の仕掛品はなかった。

	標準	レシピ通り	実際
S	660kg	648kg	650kg
T	440kg	432kg	430kg
合計	1,100kg	1,080kg	1,080kg

過去問題で考えてみよう

プラスアルファ

第159回 原価計算 第2問(改題)

M製作所では、S原料3kgとT原料2kgを配合投入して4kgのK製品を製造している。その際、工程の終点で1kgの減損が生じる。当製作所では全部標準原価計算を採用しており、原料費の原価差額を原料消費価格差異、原料配合差異および原料歩留差異に分析している。(略)

【資料(一部略・改題)】

1. S原料の標準価格は1,600円/kg、T原料の標準価格は2,200円/kgである。
4. S原料の当月実際消費量は730kg、T原料の当月実際消費量は470kgであった。
6. K製品の当月実際生産量は880kgであった。
7. 月初仕掛品はなかった。月末仕掛品は120kg(加工進捗度は30%)である。



まとめ

標準原価計算の差異分析を考えるうえで...

- ① 差異は「試験問題のため」に存在するものではなく、差異を計算したうえで、担当者を評価したり、改善点を見つけないために活用するもの。そのため、意味のない数字ではなく、計算することに何かしらの目的があることを理解する。
- ② 標準と実際がズレる要因は、大きく分けると「価格」と「数量」の2つ。そのため、(製造間接費以外は)価格の差異と数量の差異という2つの差異に分けるのが基本。
- ③ ただし、数量的な差異が生じる要因も1つとは限らない。2つの要因が考えられる場合は何か1つの要因だけで生じた差異を導き出すことが、差異分析のポイント。
その際、実際消費量を所与のものとして受け入れたうえで差異分析することが多い。
★ 実際消費量を前提に、配合割合だけは標準通りだったら… → 配合差異
★ 実際消費量を前提に、作業効率だけは標準通りだったら… → 労働能率差異など

差異分析の公式or図の書き方だけを覚えておけば案外どうにかなる2級と違い、意味を理解した上で状況に応じた応用力が試されることもある1級の合格に向けて、差異の値が意味するもの、差異の求め方の意義を試験までに今一度、確認してみたいかがでしょうか？

直前期の過ごし方



予想大会

アンケート

現時点で過去問題や模擬試験などを解いたときの点数は？

1

70点以上取れている

2

50点～60点台で推移している

3

40点台がやっと

4

40点を下回ることが多い or まだ解いたことがない



Net-School

直前期の過ごし方



予想大会

あなたは何タイプ？

1または2と
お答えの方



合格に向けて一直線
この調子！ タイプ

3または4と
お答えの方



まだまだ諦めるな
一発逆転！ タイプ



Net-School

直前期の過ごし方

合格に向けて一直線 **この調子！** タイプ



予想大会

	4 W	3 W	2 W	1 W	6/8
Step1	予想模試第1予想 →第3予想	予想模試第1予想 →ウラ予想	予想模試第1予想 →ウラ予想	第1予想～ ウラ予想まで 今まで解いた 問題の 最終チェック!!	本 試 験
	時間を計ってチャ レンジしてみよう	とにかく8割を 目指そう	時間内に 8割目指そう		
Step2	問題が解けるようになった関連する予想模試にもチャレン ジしてみよう！				
	「講師が選んだ過去問題集2025年」より 商業簿記/会計学 第1部 2回・4回・8回 工業簿記/原価計算 第1部 1回・4回・7回 をバッチリ仕上げてみよう！				
Step3	通勤時間などの移動時間を利用して、テキスト（特に商会）をしっかりと確認！				
	WEB 直前答練で最終確認				

WEB 直前答練で最終確認

理論対策はスキマ時間に！

直前期の過ごし方

まだまだ諦めるな **一発逆転！** タイプ



予想大会

	4 W	3 W	2 W	1 W	6/8
Step1	予想模試第1予想 →第2予想	予想模試第1予想 →第3予想	予想模試第1予想 →第ウラ予想	今まで解いた 問題を最後に チェック しておこう	本 試 験
↓	まずは解いてみる	とにかく7割を 目指そう	時間内に合格点を 目指そう		
Step2	予想模試の解説ページを読んでも理解できない部分は、基礎が怪しい可能性大。テキスト確認で基本論点は押さえておこう！（基本の復習を恐れないで！）				
↓	WEB 直前答練で最終確認				
Step3	誰でも解ける過去問題集のヨコ解きで実力を固めよう！			理論対策はスキマ時間に！	

WEB 直前答練で最終確認

理論対策はスキマ時間に！

直前期の過ごし方



予想大会

■ 時間のない方・・・スキマ時間で商会！！

(仕訳と理論の復習はスキマ時間に最適)

■ 標準・・・時間を計って予想模試×3回

■ 時間のある方・・・予想模試→過去問で総仕上げ

(指示や条件が変わっても解けるように)



第170回向け

日商簿記1級

直前対策コース

出題予想に基づいた**直前答練**と**過去問解き方**
中心のアウトプットトレーニングコース

パソコン・スマホで学習！

解き方講義
商会/工原各5回

直前答練
商会/工原各5回

とおる模試
商会/工原各1回

受講料金：**25,600円(税込)**：教材別コース

(※とおる模試以外の教材は別途ご用意ください。)



藤本拓也先生



中村雄行先生



インターネット LIVE NS予想大会

第170回日商簿記1級

皆さまの第170回日商簿記1級合格を
講師・スタッフ一同 祈念いたします。



アンケートにご協力をお願い致します

アンケートは特設サイトよりご利用ください。

5月19日までにアンケートを送信いただいた方の中
から、抽選で5名様に特製受験票ホルダーを
進呈致します。